

令和7年度 子ども大学あげお・いな・おけがわ

1. 実施体制

子ども大学あげお・いな・おけがわ	学長	小池 茂子（聖学院大学）
	副学長	福井 次矢（日本薬科大学）
子ども大学あげお・いな・おけがわ実行委員会	実行委員長	福嶋 仁一（日本薬科大学）
	実行委員 （関係団体）	上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、伊奈町教育委員会、聖学院大学、日本薬科大学
	問合せ先	上尾市生涯学習課（事務局）

2. 事業内容

開催回数	5回	開催期間	令和8年6月14日～令和8年8月30日			
参加者数	63名	内訳	小学5年生	35名		
			小学6年生	28名		

3. 実施内容

1 日目	開催日時	6 月 1 4 日 (土)	
		9 : 2 0 ~ 1 1 : 3 0	
生き方学	会場	聖学院大学	
	講義名	好きなことを仕事にする—子どもに英語を教える仕事を体験しよう—	
	講師	東 仁美 先生 (聖学院大学)	
			辞書で英単語を引いてみよう！
2 日目	開催日時	7 月 2 6 日 (土)	
		1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 4 5	
ふるさとし生き方学	会場	聖学院大学	
	講義名	あなたの国のマナーを教えて！—外国でラクに暮らせるヒミツを留学生と考えよう！—	
	講師	ロバート ローランド 先生 (聖学院大学)	
			留学生に外国のマナーを教えてもらおう！

3. 実施内容

3 日目	開催日時	8月2日（土）	
		9：30～12：15	
生は きて 方な 学学	会場	学校法人佐藤栄学園 埼玉自動車大学校	
	講義名	自動車のメカニズムを知ろう！	
	講師	埼玉自動車大学校教員	
			自動車ってどうやって動いているんだろう？
4 日目	開催日時	8月23日（土）	
		9：00～12：00	
は て な 学	会場	日本薬科大学	
	講義名	食べ物の中のブドウ糖を検出してみよう	
	講師	篠崎 文夏 先生（日本薬科大学）	
			普段食べている野菜や果物の糖度はどれくらい？

3. 実施内容

5 日目	開催日時	8月30日（土）	
		9：00～12：30	
は て な 学	会場	日本薬科大学	
	講義名	遺伝子のレベルでお肉の種類を調べてみよう！—これで君も科捜研？—	
	講師	齋藤 博 先生（日本薬科大学）	
PCR法でお肉の種類を調べてみよう！			

4. 参加者の声

<p>参加した子供の声（感想）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を作ることが楽しかった。英和辞典で言葉を書くことが難しかった ・自分の得意なことや好きなことを仕事にしてみたいと思った。班のみんなとの活動することも楽しかった ・英和辞典を使って自分の知っている単語を引いていくと、自分が知っている単語がいっぱいあると感じた ・英語を教える時の工夫がたくさんわかった。これから、誰かに何かを教えるときに活用したい ・留学生の話しが聞けて楽しかった。日本・ベトナム・インドの違いが知れて面白かった。 ・周りの子や外国の方と一緒に、マナーや習慣を学べて楽しかった。自分が聞いて珍しいと思ったことでも、国の人にとっては当たり前のことなので、もっと知りたいと思った。 ・マナーはルールのようなものだと思っていたけれど、地域や文化、宗教や歴史などが加わっていてびっくりした。 ・車のことがたくさんわかった。電気自動車がとても静かなことに驚いた ・車の中の構造や、エンジンの動きなど、車についてよく知れました ・自動車の整備と2つの車の乗車体験が特に楽しかった ・レモンの中の糖度を検出する方法が小学校の理科の何倍も難しかった ・糖は糖が合わさってできているということがためになった。リンゴが意外と少なく驚いた ・甘い場所がわかったので、食べ物を食べる時、どの辺を食べたら美味しいかわかった ・マイクロピペットは用途に合わせて使うということがわかった ・今まで使ったことのない器具に触れることが出来て嬉しかった。親からの遺伝子を受け継いで自分は生きているのだと実感した ・小学校では絶対に習わない授業で、難しかったけれど面白かった ・繊細な作業は難しかったけれど楽しかった ・考えたことのない実験、知らない言葉を知れて、新しい友達も出来て楽しかった ・お肉が何のお肉か当てられて嬉しかった
<p>保護者の声（感想）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に大学がこんなにあることを初めて知った。小学生でも楽しめる実験で取り組みやすかった。大学で学んだことが生活の中で、話し合ったり気に掛けるきっかけとなった ・毎回、楽しかったと目を輝かせていた。初回の講義に使った辞書引きが楽しかったと言っていた。当初は、日薬の授業を楽しみにしていたが、どの講義も楽しく来年も参加したいと言っていた ・夏休みは体験・ワークショップが色々あるが、子ども大学は、なかなか体験できないことが体験できるので有難かった。小学生で大学の中に入ったり、専門の方と接することができるだけでもすごいと思った。このような機会を今後も続けてほしい ・参加する前は、めんどくさがっていたが、参加した後は必ず来てよかった。楽しかったと言っていた。小学生では体験できない経験をして、弟が既に参加したいと言っていた ・子どもが毎回終わるたびに「楽しかったー」と顔をキラキラさせて戻ってくるのが印象的だった。自動車の授業の時は、保護者も学校ツアーが出来て、カッコいい車や塗装室なども見せてくださり、とても楽しい1日だった ・普段、考えてみたことがないことを、班の子どもたちと協力して答えを導きだせたこと、発言したことがとても良い経験になった。毎回、帰りは誇らしい顔で印象的だった。やはり「学び」は大事だと思った ・今回は「自動車のメカニズムを知ろう」に興味があり参加したが、他の分野に触れることで興味が広がった。年齢の近い、お手伝いの学生さんがいたことで親しみやすかったと思う ・座学だけでなく、実際に自分で体験できてよかった。女の子なので、車への興味はなかったが「タイヤ交換することがあったら任せて」と嬉しそうに話してくれたのが印象的だった ・様々な分野の講義を受けることができ、子どもにとって良い機会となった。当初、興味のあった分野以外にも講義を通して興味を持った様子も見られて、親としても意外な気づきとなった。参加させて良かった